

両親から学んだ知識と  
独自の栽培手法で、  
「まる豊トマト」の  
生産量を拡大。



広島県神石高原町

トマト  
小田 千寿香さん

父親の忠四郎さん(78)、母親のてる子さん(70)と共にトマト栽培を営む小田千寿香さん(49)。同じトマト団地で農業研修生として実習中の池田裕貴さん(25)と前原幸亮さん(22)。それぞれに、これまでの経緯や取り組み、現状などを聞いた。

病気や虫害から守るために  
独自の栽培手法を考案

小田さん：広島県の職員として働いていた頃に観光で訪れたモンゴルの地で、現地の人たちの生き様を目の当たりにし、「自分はいったい何をしたいのか」と自問自答。漫画家になる夢を持ち続けながら、このままでもいいのかと、1998年3月に退職し、その2ヵ月後に再びモンゴルへ自分探しの旅に出ました。その時に思ったのが、地元で両親が営むトマト栽培を受け継ぐことでした。

始めに行ったのが、8000本のトマトの木を毎日写真に撮り、その日その日の状態を立札に記録することで、水やりが必要かどうかを適切に判断して、水やりが必要かどうかを適切な対処法を導き出しました。栽培管理を任ざられてからの2年間は、追肥や害虫防除のタイミングを誤るなど失敗の連続で、やる事なす事全てが裏目に。悔しくて毎晩泣きました。そんなとき、母から助言されたのが「トマトは陽が昇る前に見る」ということでした。葉露の付き具合で、根がしっかりと働いているかどうか分かるかと教わったことを今でもよく覚えています。

現在は、肥料の増減、暑さ寒さに応じたハウスの開閉、害虫防除などに重きを置いた管理を行っています。独自の工夫としては、粉シラミを捕えて卵を産まないようにする粘着テープを畝ごとに張り、トマトの成長に応じて高さを変えています。

もう一つが、軸を上を持ち上げる手法。傷のないきれいなトマトにするため、そして病気や虫の被害から守り、収穫などの作業性を高めるために考え出しました。このトマト団地では、神石高原農業公社からトラクターや防除ロボット、管理機といった大型で高額な機械が借りられます。ほかに、有志で使い勝手のいい機械を共同購入したりもしています。ここ数年で新規就農の若い方々も徐々に増えてきて、頼もしいですね。

公社で研修生として学んだ  
幾多の経験が就農の肥やし

池田さん：神石高原農業公社で研修を受けています。高校を卒業して、福山市のホテルで4年間勤めた後、地元の神石高原町に帰ることにしました。そして、トマト農家でアルバイトとして働いたことでトマトに興味を持ちました。

午前中は出荷作業。その後、芽かき、摘葉、誘引などの手作業をします。この仕事は生きているものを自分で育てる醍醐味があります。2018年には町の模擬ハウスを10アールほど借りてトマトを栽培し、収益を得る研修にチャレンジ。2019年の本格的な就農に向け、頑張っています。

前原さん：高校卒業後、このトマト団地でアルバイトしたのが縁で、2017年4月から神石高原農業公社で研修を受けています。一番の理由は、ただただトマトに惚れたから。トマトに触っているだけで楽しいんです。加えて、アルバイト先の農家さんのトマトに対する真剣な姿勢やこだわり、独自の栽培法を目の当たりにして、自分でも栽培してみたいと思いました。手先は器用なほうですが、誘引と吊り直しは難しく、まだまだ思うようにはできません。マスターするには、とにかく経験を重ねながら自分のものにしていくしかないです。これまで教わったことは、全て自分の財産です。この団地にはトマト栽培のスペシャリストが何人もいらっしゃるから、今後も貪欲に栽培技術を吸収しながら、一生の仕事として頑張ろうと思っています。



(1)色つき、傷の有無、サイズなど6項目をチェックし、選り分けられたトマト (2)土の中に潜んでいる確率が高い病気や虫から守り、作業性を高める軸上げ手法。トマトの重みで枝が折れるのを防ぐ「房吊り」などの工夫が施されている (3)左から、忠四郎さん、千寿香さん、てる子さん (4)「誘引」作業中の池田さん(左)と前原さん(右)



毎日、陽が昇る前に  
作業をスタート



5:30 作業準備

起床後、ハウスに行き、トマトに液肥を施してから、パートさんの作業の準備を行います。



9:30 午前中にパートさんが収穫したトマトを選果し、出荷不可と出荷可に分けて袋詰めします。

12:00 昼食

14:00 農協への出荷作業および二次選果を行います。



19:00 翌日の肥料づくり、管理日誌の作成

日誌を書き、記録を毎日残しておくことが大切。

小田さんの

一日

DATA

広島県神石高原町 陽光の里トマト団地

【お問い合わせ】  
神石高原町役場 産業課  
広島県神石郡神石高原町小島2025 TEL:0847-89-3337